

第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の進捗状況について

令和2年度の取組に対する評価の凡例

○：計画通り実施
 △：一部実施、内容を変更して実施
 実施したものの計画に定める水準を満たしていない
 ×：未実施

基本方針1：地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通網の構築

目標	事業	事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性
			R2	R3	R4	R5	R6				
目標1	事業1-1	鉄道の利便性向上の要請			継続実施			津市、三重県	三重県鉄道網整備促進期成同盟会を通じJR東海等に対し、交通系ICカード利用エリアの拡大、バリアフリー化等駅設備及び待合環境の改善をはじめとした要望を行った。	○	今後も引き続き、利用者から寄せられる鉄道の利便性向上に係る意見を整理し、事業者への要望を行う。
	事業1-2	一般路線バス（幹線・準幹線）の維持			継続実施		三重交通、津市、三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少しているが、減便や廃線等の変更はなく、現行のサービス水準を維持した。 津市産業・スポーツセンター（サオリーナ）へ運行している一身田大里線については、イベントの中止に伴う利用者の減少が著しく、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、運行継続を図った。 波瀬線については、自主運行バス高野団地線（旧多気線）と合わせ、計画に定めるサービス水準を満たすよう〈事業3-1〉自主運行バス（廃止代替バス）の見直しの中で配慮し、実施した。	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少した状況において、一般路線バスのサービス水準の維持は喫緊の課題である。実施主体間での情報共有を密にし、連携した対応に努める。	
	事業1-3	隣接自治体との連携			継続実施		津市、三重県	隣接自治体への乗入路線のうち、自主運行バス亀山椋本線においては、亀山市と連携し、津市芸濃町から亀山高校への通学利用等を想定した利用促進のチラシの配布を行った。	○	令和3年度においては、亀山椋本線に加え、鈴鹿市への乗入路線であり、利用者が減少している一般路線バスの津太陽の街線を対象として、利用促進チラシの配布を予定している。	
	事業1-4	航路の維持・向上			継続実施		津エアポートライン 津市、三重県	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、1年を通じて減便及び運休にて対応した。 本状況において航路のPR事業等は実施していないが、航路維持のため新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し支援を行った。	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、引き続き減便及び運休を実施しており、利用者の減少から航路の存続が危ぶまれるところである。 航路の維持に向け国、県、市が連携し適宜必要な支援を行う。	

目標2	日常生活における移動の確保	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6				
		事業2-1	一般路線バス（市内線）の維持	網計画において定めるサービス水準での運行継続に努める。			継続実施			三重交通	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少しているが、減便や廃線等の変更はなく、現行のサービス水準を維持した。	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少した状況において、一般路線バスのサービス水準の維持は喫緊の課題である。運行事業者との情報共有を密にし、連携した対応に努める。
		事業2-2	コミュニティバス等（支線）の維持	コミュニティバスを運行し、日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、鉄道、一般路線バスと接続させる。			継続実施			津市、バス事業者	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少しているが、減便や廃線等の変更はなく、現行のサービス水準を維持した。	△	今後は、新たな路線での利用状況の把握に努め、適宜運行時刻や路線を見直ししながら、現行の利用需要に対応した運行を継続する。
		事業2-3	各種施設への乗り入れ	利便性向上のため、必要に応じて大型商業施設や公共施設等への乗り入れを実施する。			随時実施			津市、バス事業者、関係施設	令和3年4月1日付けで実施したコミュニティバスの再編において、新たに大型商業施設「イオンモール津南」等へコミュニティバスを乗り入れるための調整等を行った。	○	令和3年4月1日から乗入を実施した「イオンモール津南」について、本商業施設と連携した利用促進を検討している。 令和3年7月1日からコミュニティバス路線沿線の医療機関「吉田クリニック」への乗入を開始した。 今後も、必要に応じ施設への乗入を検討、実施する。
		事業2-4	新たな交通サービスの研究	高齢化が進む中で、自宅から最寄りの駅やバス停までの移動手段の確保が課題であり、タクシーの機能向上を図るとともに、タクシーが充実していない地域における末端交通としての新たな交通サービスを研究する。			随時実施			津市	タクシーの利用が困難な美杉地域において、鉄道や路線バスでの対応が難しい地域住民の日常生活及び観光客等の来訪者の移動需要に対応するため、住民自らが輸送サービスを提供する「美杉地域お助けタクシー」の導入に対し支援を行った。	○	「美杉地域お助けタクシー」が令和3年7月1日から運行を開始している。今後は、利用状況や課題等を把握しながら、運営協議会に対し、事業継続に必要な支援を検討する。

基本方針2：地域ニーズと持続性を両立させた公共交通サービスの提供

目標3	バス路線の運行効率化	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6				
		事業3-1	自主運行バス（廃止代替バス）の見直し	より効率的かつ利便性が高い運行を目指し、随時見直しを実施する。		見直し		随時実施		津市	各路線の特性および需要を把握し、「利用実態に応じた運行本数の設定」、「津市コミュニティバスによる代替を推進」の方向性に基づき見直しを行った。（令和3年4月1日付けで見直しを実施） また、津なぎさまち内旅客船ターミナルの空調設備については、開港から15年が経過し老朽化が進んでいたことから、取替修繕を行った。	○	今後は新たな路線での利用状況の把握に努めながら、路線毎の評価指標を設定し、適宜運行時刻や路線の見直しを行う。
		事業3-2	津市コミュニティバスの再編	より効率的かつ利便性が高い運行を目指し、令和2年度に再編を、令和3年度以降においては随時見直しを実施する。		再編		随時見直し		津市	「移動ニーズ・利用実態の反映」、「他交通機関との役割分担の整理」、「地域特性の考慮」の3つの方向性に基づき、再編を行った。（令和3年4月1日付けで再編を実施）	○	今後は新たな路線での利用状況の把握に努めながら、路線毎の評価指標を設定し、適宜運行時刻や路線の見直しを行う。
		事業3-3	乗り継ぎ拠点の設定 ダイヤ設定 案内の充実	鉄道に合わせた一般路線バス並びに鉄道及び一般路線バスに合わせたコミュニティバス等のダイヤを設定し、乗り継ぎを確保し、案内の充実を図る。			継続実施			津市、三重交通、その他交通事業者	鉄道及び一般路線バスについては、乗り継ぎの再設定を要するダイヤの変更は無かった。 自主運行バス及び津市コミュニティバスについては、乗り継ぎに配慮した見直し及び再編を実施した。 また、案内については、コミュニティバスと一般路線バス及び他のコミュニティバスとの接続状況がわかる乗り継ぎ案内を運行ダイヤと合わせ作成し、各戸配布した。	○	交通機関のダイヤ変更については、運行事業者間での情報共有を密にし、乗り継ぎが確保されるよう努めるとともに、利用者への最適な案内についても随時行う。
		事業3-4	住民主体型の移動手段の推進	地域住民が運営主体となり運行する地域の実情に応じたデマンド型交通等のコミュニティ交通に対し、補助金を活用した支援を行う。			随時実施			津市	事業を継続実施している3地区について、引き続き補助金の交付を行った。 また、事業の導入を検討している美杉地域太郎生地区の住民に対して説明会を開催した。	○	令和3年度は事業を継続する3地区に引き続き支援を行うが、利用実績のない二俣地区については、聞き取りなどにより、利用需要を再確認した上で、事業の廃止若しくは事業内容の変更について自治会とともに検討する。

基本方針3：利用促進につながる移動環境の提供

目標	事業	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6					
目標4	快適な移動環境の整備	事業4-1	待合環境等の整備	公共交通に係る車両のバリアフリー化及びバス停における待合環境の整備に努める。 また、鉄道駅においても、駅舎のバリアフリー化を始めとした、待合環境整備に努める。							津市、三重交通、 その他交通事業者	○	令和3～4年度にかけて、近畿日本鉄道株式会社において、近鉄江戸橋駅への多機能トイレや点字ブロック設置等の事業を実施した。(国、県及び市協調補助)	令和3～4年度にかけて、近畿日本鉄道株式会社において、近鉄南が丘駅へのエレベーター設置事業を予定している。(国、県及び市協調補助) また、令和3年度には津市コミュニティバスとして使用するバリアフリー対応車両の購入を予定している。
		事業4-2	定時性確保のための渋滞緩和	一般路線バスを中心とした乗合バスの定時性を確保するために、三重県道路交通渋滞対策推進協議会が中心となり、渋滞緩和のための取り組みを実施する。							三重県、津市、 三重県警察、 その他道路管理者	○	共に南北に並行して整備されている国道23号と中勢バイパスは互いに経路選択可能な道路である。両路線の混雑緩和のため、時間帯別の混雑状況を可視化したマップを作成しており、これを更新した。 広報誌等によりノーマイカーデーの実施協力に係る呼びかけを行った。	新型コロナウイルス感染症の流行により、国から「新しい生活様式」の実践が提唱されており、テレワーク等の普及を機に、交通需要のマネジメント施策への展開が可能か検討していく。

目標	事業	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性		
					R2	R3	R4	R5	R6						
目標5	公共交通に関する情報の管理と提供	事業5-1	バスロケーションシステムの充実	バスの位置情報を把握できる「バスロケーションシステム」のサービスの継続と対応エリアの拡大等を進める。							三重交通	○	津市内においては、一般路線バス全線がバスロケーションシステムに対応しており、継続して当該サービスを運用した。 この他、三重交通株式会社伊勢営業所管内において、新たに当該サービスを導入した。	引き続き、当該サービスの運用を継続するとともに、県南部については、非対応の地域があるため、順次サービスエリアの拡大を図る。	
		事業5-2	来訪者(特に外国人)への情報提供	案内整備	観光関連事業者と交通関係事業者等が連携し、来訪者に優しい環境づくりや、観光客の利便性の向上を図るとともに、効果的な情報発信に取り組む。							津市、三重交通、 その他交通事業者	△	予定している交通結節点での来訪者に配慮した案内の整備は実施できていない。 各交通事業者において、多言語に対応したHP等での情報提供を行っている他、旅客船ターミナル、鉄道駅、バス停及びバス車内の案内についても、ピクトグラム表記や多言表記がなされている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、現在観光目的の来訪者については、激減している状況である。ポストコロナにおける利用回帰に資する効果的な事業について検討、実施する。
				情報提供											
		事業5-3	紙媒体による情報提供	利用者の更なる利便性向上に資するため、津市内の鉄道並びに一般路線バス及びコミュニティバス等を一体的に扱った路線図を作成する。								津市	×	令和3年4月1日付けで実施した自主運行バスの見直し及びコミュニティバスの再編により、路線が大幅に変更となったことから、未実施とした。	再編後の路線の情報を反映させ路線図を作成する。
事業5-4	公共交通データの標準化及びオープン化	標準化	インターネット等の経路検索におけるバス情報の拡充を目的として、公共交通の時刻情報や地理的情報を各経路検索アプリの管理事業者に受け渡すため、一般路線バス及び津市コミュニティバス運行情報に係る「標準的なバス情報フォーマット」を作成する。 また、将来的には、当該データを活用し、津市の地域特性を生かしたMaaSの導入ができるよう事例の研究を行う。								三重交通	○	一般路線バスについては、「標準的なバス情報フォーマット」の作成が完了した。	コミュニティバスについては、令和3年度に三重県生活交通確保対策協議会にて推進している「公共交通ネットワーク見える化事業」に参画し、データの標準化及びオープン化を進めており、同年度中に完了予定である。	
		標準化及びオープン化									三重県、津市				
		MaaSの研究													三重交通、津市

基本方針4：市民による自発的な行動の促進

目標6	公共交通を担う人材の育成	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6					
		事業6-1	運転手不足への対応	社会問題になっているバスの運転手不足への対応として、交通事業者においては、積極的な採用活動を継続し、津市においては、運転手不足の実情について情報の発信に努める。			継続実施				交通事業者、津市	新型コロナウイルス感染症の影響により、年度前半は新規採用に係る説明会等を控えたが、年度後半については、従前通り積極的に活動を行なった。 情報発信については、開催予定のイベントが軒並み中止（1件のみ実施）となったことから、不十分なものとなった。	△	採用活動については、新型コロナウイルス感染症の影響に応じ、適宜実施する。 情報発信についても、HPや広報等の媒体を活用し実施する。
		事業6-2	住民主体型の組織設立支援	「地域公共交通あり方検討会」にて、地域住民が積極的に参画できる体制を整えるとともに、住民主体型の組織の設立等の希望があった場合は、実例や各種制度の情報提供等の支援を行う。			継続実施				津市	美杉地域において、デマンド型の自家用有償旅客運送を実施するにあたり、「美杉地域お助けタクシー運営協議会」の設立について支援を行った。 また、地域住民運営主体型コミュニティ交通事業の導入を検討している美杉地域太郎生地区の住民に対して説明会を開催した。	○	令和3年7月1日に「美杉地域お助けタクシー」事業が開始されており、市としては当該事業の周知に係る広報等を行った。今後は、利用状況や課題等を把握しながら、運営協議会に対し、事業継続に必要な支援を検討する。

目標7	公共交通に関する市民の意識向上	目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール					実施主体	令和2年度取組状況 (計画期間1年目)	評価	令和3年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6					
		事業7-1	JR名松線の活性化 案内整備 情報提供	日常的な移動手段と観光資源としての2つの特性を生かしPRを行い、他の観光資源との連携を図るなど、美杉地域を始めとした沿線地域全体の活性化をめざす。			継続実施				津市、三重県、 その他交通事業者	令和2年度に開通85周年（復旧5周年）を迎えたため、鉄道雑誌へ特集記事を掲載した。 また、三重県立白山高等学校において、地域貢献活動の一環で名松線の活性化を目的としたPR動画及びポスターを作製しPRを行った。 開通85周年（復旧5周年）記念事業に係るPRイベント等の実施も予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	△	令和3年度はJR名松線沿線の観光地情報を発信するための専用HPを作成し、PRを実施する。 現状において、PRイベントの開催が難しいため、PR方法を検討する必要がある。
		事業7-2	利用促進イベントの実施	公共交通の利用を促進するため、イベントを実施する。			継続実施				津市、三重県、 中部運輸局、 三重交通	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントがほとんど実施できなかった。 令和3年1月に高齢者を対象としたバスの乗り方教室を小規模で実施した。	△	利用促進イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、実施を検討する。 令和3年度はバスの日の街頭啓発を実施予定である他、地域の集まりの中で時間を取っていただくなどし、小規模な説明会等についても実施を検討している。
		事業7-3	広報紙やホームページ等による広報	公共交通の利用を促進するため、主に広報紙やホームページ等で公共交通に関する情報を提供する。			継続実施				津市、三重交通、 その他交通事業者	各実施主体において、継続して情報の提供を行った。特に令和2年度においては、各公共交通機関において講じている新型コロナウイルス感染拡大防止策をHP等で周知した。 また、自主運行バス及びコミュニティバスについては、見直し及び再編の実施に際し利用者への周知を徹底した。	○	今後も各実施主体において、継続して必要な情報の提供を行う。
		事業7-4	モビリティ・マネジメントの実施	WEBサイトを活用した啓発活動を引き続き実施するとともに、民間企業、学校、高齢者向けイベント等と連携し、対象を明確化した啓発を実施する。			継続実施				津市、三重県	WEBサイトを活用し啓発活動を実施した。 対象を明確化し、イベントと連携した啓発については、高齢者を対象としたバスの乗り方教室を小規模で実施した。	△	引き続き、WEBサイトを活用し啓発活動を実施する。 モビリティマネジメントに係る利用促進イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、実施を検討する。 地域の集まりの中で時間を取っていただくなどし、小規模な説明会等についても実施を検討する。
		事業7-5	運転免許証返納に対する支援	各交通事業者において、運転免許証自主返納者を対象とした割引制度を引き続き運用するとともに、当該制度や高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）をチラシやホームページ等で周知する。			継続実施				津市、三重県、 三重交通、 その他交通事業者、 三重県警察	各実施主体において、引き続き割引制度を運用しサービスを提供した。 割引制度等をチラシやホームページ等で周知した。	○	各実施主体において、引き続き、割引制度を運用し継続してサービスを提供する。 割引制度等をチラシやホームページ等で周知する。

第 2 次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の進捗状況について（補足）

本別紙資料は【資料 3 - 1】を補足する資料として、各事業実施の背景、今後の事業の進め方及び取組を評価する際の判断理由等を必要に応じ補足説明するものです。

目標 1 「広域の移動の確保」の達成に向け実施する事業のうち「事業 1 - 4」航路の維持・向上については、津エアポートラインが中部国際空港と津なぎさまちを結び、中部国際空港のフライト状況に合わせた運航であるという性質上、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、令和 2 年度は年間を通して運休、減便となり、利用者数は前年度と比較し 10%以下となりました。計画に定める事業としては、国内外からの観光誘客に資する情報発信等により、航路の利用促進に取り組むこととしておりますが、令和 2 年度は専ら航路維持のための支援が主な取組となり、津市としては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し 1,871 万 2 千円を交付しました。令和 3 年度以降についても、航路の維持に向け国、県、市が連携し引き続き必要な支援を行います。

なお、本事業の取組に対する評価としては、「△：内容を変更して実施」としてしております。

目標 2 「日常生活における移動の確保」の達成に向け実施する事業のうち「事業 2 - 3」各種施設への乗り入れについては、令和 3 年 4 月 1 日付けで実施した津市コミュニティバスの再編において、新たに大型商業施設イオンモール津南への路線の乗り入れを実施しました。本件に関しては、令和 2 年度第 4 回の協議会において、イオンモール津南と連携した利用促進についてのご提案をいただいております。三重交通株式会社、イオンモール津南及び津市で本商業施設に乗入れる一般路線バス及び津市コミュニティバスを利用した方を対象とした割引サービス等の実施について検討しております。

実施時期については、新型コロナウイルスワクチンの接種状況等を見ながら検討いたします。

目標 3 「バス路線の運行効率化」の達成に向け実施する事業のうち「事業 3 - 1」自主運行バス（廃止代替バス）の見直し及び「事業 3 - 2」津市コミュニティバスの再編については、令和 3 年 4 月 1 日付けで見直し及び再編を実施し、現在新たな路線での利用状況の確認を行っており、随時運行時刻や路線の見直しを検討していきます。

なお、自主運行バス及び津市コミュニティバスの運行に係る数値目標につい

では、見直し及び再編後の利用状況を確認し、別途設定することとしておりますので、当該指標の設定については、以後の協議会においてご協議いただきたいと考えております。

目標 5「公共交通に関する情報の管理と提供」の達成に向け実施する事業のうち「事業 5-2」来訪者（特に外国人）への情報提供については、各運行事業者において、旅客船ターミナル、鉄道駅、バス停等で多言語案内やピクトグラム表記がなされています。津市が実施する取組としては、中部国際空港から航路を利用して訪れる外国人旅客に対する誘客強化を主眼に置いた観光地への案内を想定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により航路利用者が大幅に減少しているため、取組内容については再検討をいたします。本事業の取組に対する評価としては、「△：一部実施」としております。

また、「事業 5-3」紙媒体による情報提供については、津市内の鉄道並びに一般路線バス及び津市コミュニティバス等を一体的に扱った路線図を作成するものですが、令和 3 年 4 月 1 日付けで実施した自主運行バスの見直し及び津市コミュニティバスの再編により路線が大幅に変更となったことから令和 2 年度は未実施といたしました。

今後、変更後の路線を反映させた路線図の作成に取り組みますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般路線バスの路線統合等が懸念されるため、運行事業者と情報共有の上、実施時期の判断をいたします。

目標 7「公共交通に関する市民の意識向上」の達成に向け実施する事業のうち「事業 7-1」JR 名松線の活性化、「事業 7-2」利用促進イベントの実施及び「事業 7-4」モビリティ・マネジメントの実施については、何れもイベントの実施を取組の一つとして予定していたものです。これらのイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどが中止になったため、取組としては、規模を縮小してのイベント実施やWEBサイトを活用したPRにとどまったことから、評価は、「△：実施したものの計画に定める水準を満たしていない、内容を変更して実施」としております。

今後については、新型コロナウイルスワクチンの接種状況等を見ながら、イベント実施や参画について検討いたします。

最後に目標 1「広域の移動の確保」、目標 2「日常生活における移動の確保」のうち、「事業 1-2」一般路線バス（幹線・準幹線）の維持、「事業 2-1」一般路線バス（市内線）の維持、「事業 2-2」コミュニティバス等（支線）の維持については、取組に対する評価を△といたしました。

これらの事業は、単に取組状況として評価した場合には、一般路線バス、津市コミュニティバスともに、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、大幅な減便や廃線等の変更は無く、現行のサービス水準を維持できているため「○：計画通り実施」と評価できるものの、【資料3-2】に示すとおり、令和元年度実績又は数値目標と令和2年度実績を比較すると、利用者数は非常に低い水準となっております。

こうした状況の中、今後現行のサービス水準の維持が難しくなる路線の発生が懸念され、これらの事業の進捗に関し大きな課題となることが容易に予測できるため、例外的に評価を△としています。

「目標の達成度を測る数値目標」について

目標		評価項目	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	数値目標
目標1	広域の移動の確保	■市内の鉄道駅での乗車数※1	17,828,471人/年	18,004,599人/年	17,996,536人/年	17,900,000人/年

目標		評価項目	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	数値目標
目標1	広域の移動の確保	■航路の利用者数※2	289,387人/年	277,326人/年	25,217人/年	300,000人/年
		■一般路線バス（幹線・準幹線）の利用者数	2,940,782人/年	2,876,365人/年	2,164,502人/年	2,900,000人/年
目標2	日常生活における地域移動の確保	■一般路線バス（市内線）の利用者数	749,857人/年	818,733人/年	534,525人/年	740,000人/年
		■コミュニティバス等（支線）の利用者数	112,951人/年	112,384人/年	92,672人/年	110,000人/年
目標7	公共交通に関する市民意識の向上	■モビリティ・マネジメントや利用促進イベント等実施数	6回/年	6回/年	3回/年	7回/年

※1 「市内の鉄道駅での乗車数」のみ令和元年度実績が最新です。

※2 令和2年度における津エアポートラインの運航状況については以下のとおりです。

・全便運休

令和2年4月20日～6月18日

令和3年1月18日～3月18日

・減便運航

令和2年3月14日～4月19日（8往復16便）

令和2年6月19日～7月21日（4往復8便）

令和2年7月22日～1月17日（5往復10便）

令和3年3月19日～5月16日（5往復10便）

（通常は15往復30便）

■ 鉄道

(1) 概要

東海旅客鉄道、近畿日本鉄道、伊勢鉄道が運行する市内の鉄道。

(2) 利用状況

○ JR紀勢本線、JR名松線、近鉄名古屋線、近鉄大阪線
及び伊勢鉄道における市内の鉄道駅の乗車数

【単位：人】

路線名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較 (R1/H30)	比較 (R1/H29)
JR紀勢本線	1,889,020	2,022,742	2,113,823	104.5%	111.9%
JR名松線	145,981	148,749	163,043	109.6%	111.7%
近鉄名古屋線	14,449,903	14,497,543	14,453,313	99.7%	100.0%
近鉄大阪線	601,808	604,520	571,459	94.5%	95.0%
伊勢鉄道	741,759	731,045	694,898	95.1%	93.7%
合計	17,828,471	18,004,599	17,996,536	100.0%	100.9%

※ 「市内の鉄道駅での乗車数」のみ令和元年度実績が最新

■ 航路

(1) 概要

津なぎさまちと中部国際空港を結ぶ航路。

(2) 利用状況

○ 航路の利用者数

航路名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
津エアポート ライン	289,387	277,326	25,217	9.1%	8.7%

※ 令和2年度における津エアポートラインの運航状況については以下のとおり

・減便運航

令和2年3月14日～4月19日（8往復16便）

令和2年6月19日～7月21日（4往復8便）

令和2年7月22日～1月17日（5往復10便）

令和3年3月19日～5月16日（5往復10便）

（通常は15往復30便）

・全便運休

令和2年4月20日～6月18日

令和3年1月18日～3月18日

■ 一般路線バス

(1) 概要

三重交通（株）が運行する路線バス

(2) 利用状況

一般路線バスの利用者数

○ 幹線・準幹線と位置付ける路線

【単位：人】

路線名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
棕本線	779,682	814,760	638,076	78.3%	81.8%
一身田大里線	67,013	133,331	79,900	59.9%	119.2%
三行線	18,878	19,000	16,910	89.0%	89.6%
神戸白塚線	251,716	244,451	144,319	59.0%	57.3%
安濃線	138,352	123,001	98,153	79.8%	70.9%
長野線	187,734	166,844	165,184	99.0%	88.0%
泉ヶ丘 片田団地線	204,697	145,411	121,687	83.7%	59.4%
穴倉線	32,979	31,106	38,116	122.5%	115.6%
殿舟団地線	57,475	29,385	—	—	—
津三雲線	120,382	131,018	103,180	78.8%	85.7%
香良洲線	234,276	206,121	126,445	61.3%	54.0%
城山線	292,653	244,208	192,689	78.9%	65.8%
榑原線	312,170	288,608	228,490	79.2%	73.2%
久居高茶屋線	103,828	105,024	102,988	98.1%	99.2%
多気線	16,814	14,922	11,633	78.0%	69.2%
波瀬線	70,860	74,333	62,907	84.6%	88.8%
津太陽の街線	38,256	32,354	22,319	69.0%	58.3%
奥津線	3,780	6,583	5,442	82.7%	144.0%
亀山棕本線	9,237	8,335	6,064	72.8%	65.6%
合計	2,940,782	2,818,795	2,164,502	76.8%	73.6%

○ 市内線と位置付ける路線

【単位：人】

路線名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
津なぎさまち線	41,188	65,128	25,846	39.7%	62.8%
津駅西団地 循環線	119,274	111,725	90,340	80.9%	75.7%
津西 ハイタウン線	344,040	356,921	263,850	73.9%	76.7%
看護大学 ・夢が丘線	196,384	223,843	109,404	48.9%	55.7%
国立病院線	48,971	61,116	45,085	73.8%	92.1%
合計	749,857	818,733	534,525	65.3%	71.3%

※調査日

平成30年度

6月 8日（金）、6月 9日（土）、6月10日（日）

令和元年度

6月 7日（金）、6月 8日（土）、6月 9日（日）

令和2年度

9月11日（金）、9月12日（土）、9月13日（日）

■ 自主運行バス（廃止代替バス）

(1) 概要

三重交通（株）の路線バスが廃止となった路線を、津市が運行している。

運賃体系や定期券等の利用については、三重交通（株）の路線バスと全く同じ。

平成29年4月に榊原線の一部（榊原車庫前～榊原温泉口駅）を廃止代替化、平成29年10月に津新町大里線を延伸した。（津新町駅～サオリーナ前）

新型コロナウイルス感染症の影響により、産業・スポーツセンターへ運行しているバス路線の利用者が大きく減少していることから、令和2年3月に地方創生臨時交付金を活用して、三重交通に対し、運行継続に対する支援を実施した。（一身田大里線、津新町大里線）

令和3年4月1日のコミュニティバスの再編に併せ、4路線（豊野団地線、津新町大里線、高野団地線、亀山棕本線）に見直しを実施した。

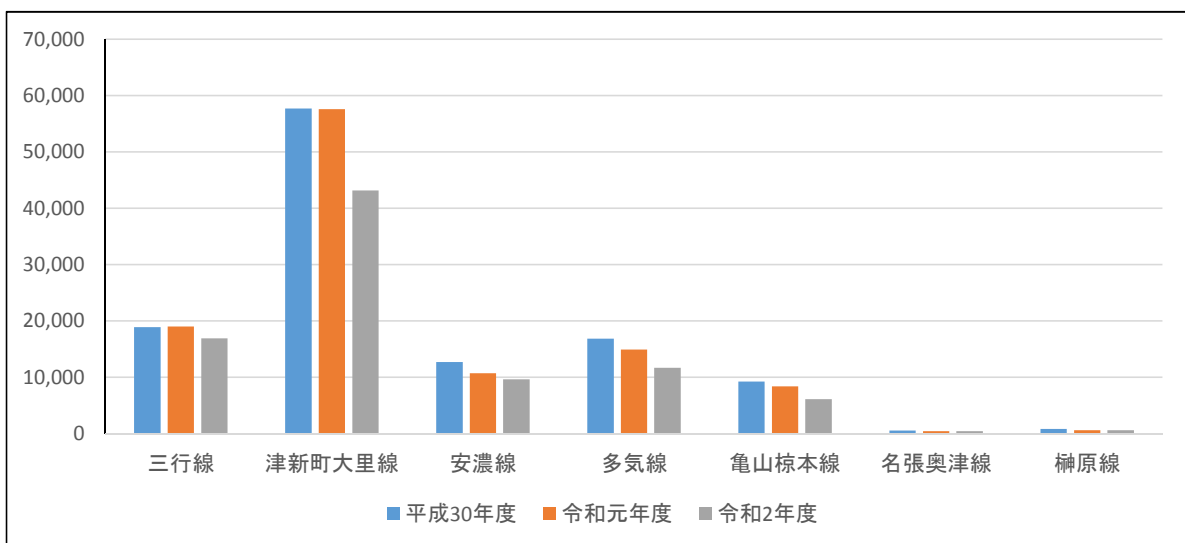
(2) 利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度実績は全体的に減少している。特にサオリーナに運行している津新町大里線や学生の利用が多い亀山棕本線が大きく減少している。

○ 自主運行バス（廃止代替バス）の利用者数

【単位：人】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
三行線	18,878	19,000	16,910	89.0%	89.6%
津新町大里線	57,653	57,570	43,158	75.0%	74.9%
安濃線 (立合系統)	12,656	10,670	9,598	90.0%	75.8%
多気線	16,814	14,922	11,633	78.0%	69.2%
亀山棕本線	9,237	8,335	6,064	72.8%	65.6%
名張奥津線	539	384	395	102.9%	73.3%
榊原線	800	562	583	103.7%	72.9%
合計	116,577	111,443	88,341	79.3%	75.8%



(3) 事業費の状況

運転士不足等により、運行経費は増加傾向にあり、純支出は年々増加している。

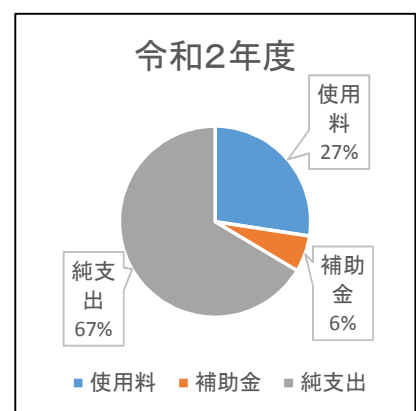
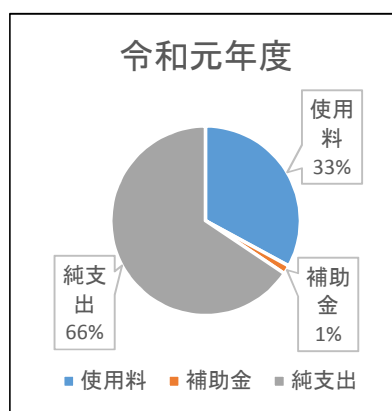
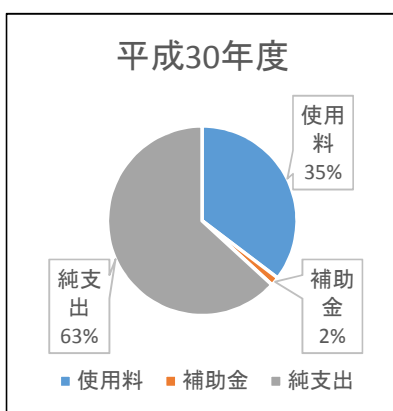
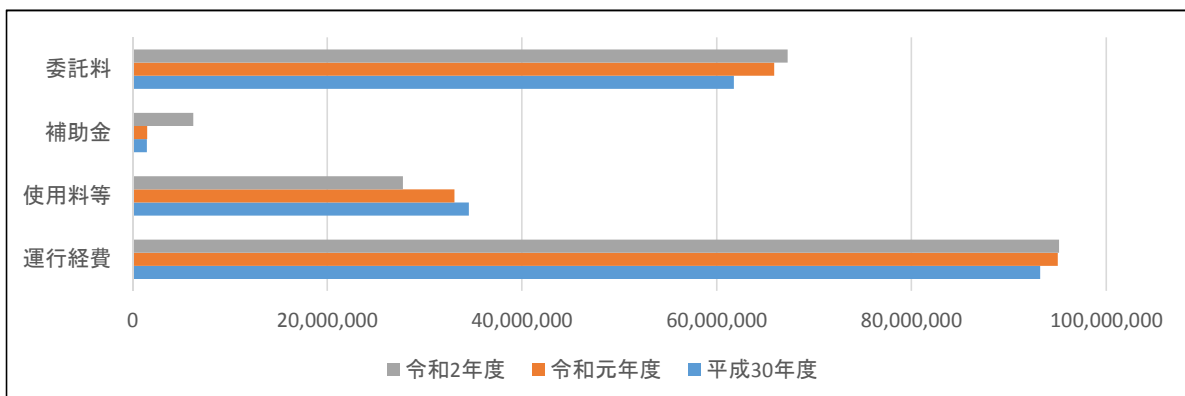
国の要綱改正により、平成30年度から名張奥津線が補助金（フィーダー）の対象外となった。

○ 自主運行バス（廃止代替バス）事業費

【単位：円】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
運行経費 (A)	93,215,000	95,035,000	95,165,500	100.1%	102.1%
使用料等※ (B)	34,542,000	33,078,000	27,758,500	83.9%	80.4%
補助金(幹線) (C)	1,482,000	1,511,500	6,239,680	412.8%	421.0%
委託料(D) = (A) - (B) - (C) + 税	61,766,280	65,911,790	67,284,052	102.1%	108.9%
補助金収入 (フィーダー) (E)	0	0	0		
純支出(F) = (D) - (E)	61,766,280	65,911,790	67,284,052	102.1%	108.9%

※ 「名張奥津線」の三重交通(株)負担金を含む



■ 津市コミュニティバス

(1) 概要

市内8地域において、主に民間路線バスの通っていない地域等で、地域住民の移動手段の確保を目的として津市が運行しており、令和3年4月1日に再編を実施した。

買い物や通院での利用が多いが、白山地域では、小中学生や高校生の通学手段としても利用されている。

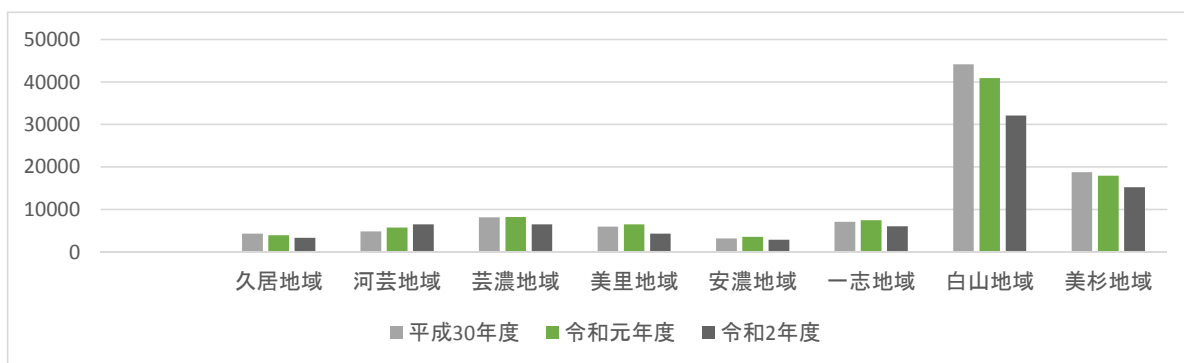
(2) 利用状況

利用者の減少傾向が続いてきたが、平成29年9月25日に津市高齢者外出支援事業が開始されたことにより、利用者数は一定数増加した。また、河芸地域においては、近年利用者の増加が著しい状況にある。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響を受け、令和2年度は前年度と比較して2割程度減少している。

○ 津市コミュニティバスの利用者数

【単位：人】

地域名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
久居地域	4,339	3,970	3,315	83.5%	76.4%
河芸地域	4,819	5,764	6,538	113.4%	135.7%
芸濃地域	8,175	8,257	6,500	78.7%	79.5%
美里地域	5,967	6,534	4,353	66.6%	73.0%
安濃地域	3,162	3,540	2,858	80.7%	90.4%
一志地域	7,079	7,495	6,089	81.2%	86.0%
白山地域	44,133	40,925	32,110	78.5%	72.8%
美杉地域	18,796	17,967	15,213	84.7%	80.9%
合計	96,470	94,452	76,976	81.5%	79.8%



※ 美里地域、白山地域、美杉地域（川上ルート、丹生俣ルート）は、4週間（6月、8月、11月、2月の各1週間）の乗降調査から算出した推計値

(3) 事業費の状況

運転士不足等により、運行経費は年々増加傾向にあったが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、仕事量が減ったタクシー会社等が競争し、安価で落札したことから運行経費が大きく減少している。収入には、運賃や定期券・回数券の販売等の使用料と国からの補助金があり、使用料は津市高齢者外出支援事業の開始により大きく減少した。

○ 平成30年度津市コミュニティバス事業費

【単位：円】

地域名	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	広告収入 (C)	補助金収入 (C)	純支出 (A-B-C)	収支率 (B/A)
久居地域	6,729,314	255,350	231,000	725,000	5,517,964	3.8%
河芸地域	6,163,195	124,800	0	1,366,000	4,672,395	2.0%
芸濃地域	11,373,799	168,300	72,000	2,280,000	8,853,499	1.5%
美里地域	25,445,962	294,000	0	5,410,000	19,741,962	1.2%
安濃地域	7,070,366	114,150	36,000	501,000	6,419,216	1.6%
一志地域	13,324,600	66,900	0	2,338,000	10,919,700	0.5%
白山地域	39,853,992	3,713,600	0	0	36,140,392	9.3%
美杉地域	51,140,203	727,300	108,000	11,692,000	38,612,903	1.4%
合計	161,101,431	5,464,400	447,000	24,312,000	130,878,031	3.4%

※ 車両購入に係る経費及び収入は除いている

○ 令和元年度津市コミュニティバス事業費

【単位：円】

地域名	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	広告収入 (C)	補助金収入 (D)	純支出 (A-B-C-D)	収支率 (B/A)
久居地域	6,055,782	213,400	108,000	806,000	4,928,382	3.5%
河芸地域	6,055,568	115,900	0	1,459,000	4,480,668	1.9%
芸濃地域	8,713,122	174,880	0	2,335,000	6,203,242	2.0%
美里地域	25,943,328	345,800	0	6,144,000	19,453,528	1.3%
安濃地域	5,133,979	54,300	0	570,000	4,509,679	1.1%
一志地域	13,405,120	115,500	0	2,692,000	10,597,620	0.9%
白山地域	40,657,000	3,296,890	0	0	37,360,110	8.1%
美杉地域	50,339,341	667,850	72,000	13,506,000	36,093,491	1.3%
合計	156,303,240	4,984,520	180,000	27,512,000	123,626,720	3.2%

※ 車両購入に係る経費及び収入は除いている

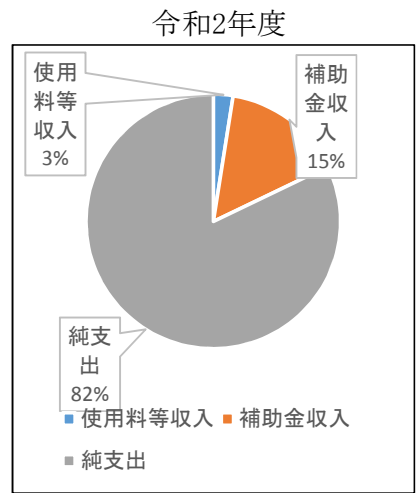
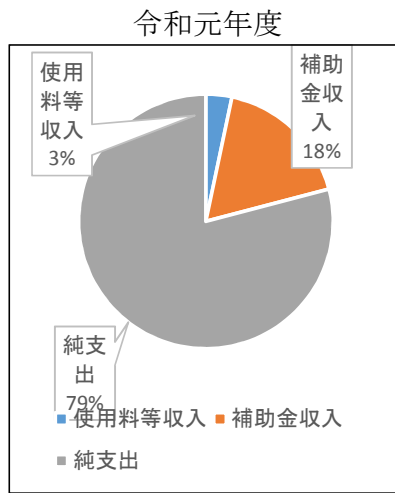
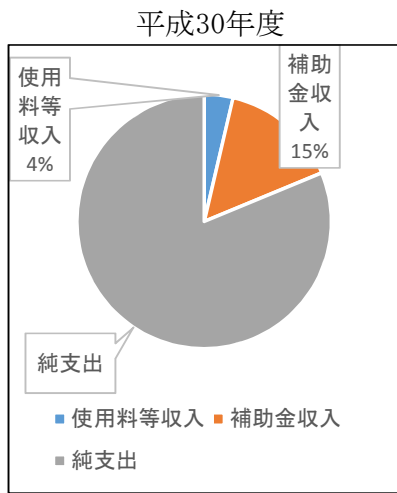
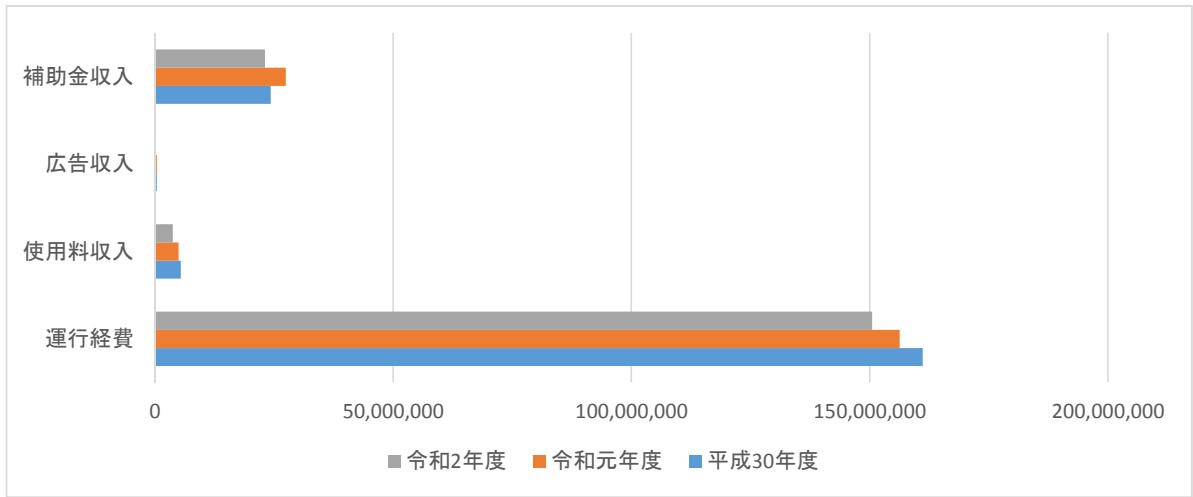
○ 令和2年度津市コミュニティバス事業費

【単位：円】

地域名	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	広告収入 (C)	補助金収入 (D)	純支出 (A-B-C-D)	収支率 (B/A)
久居地域	4,008,314	157,700	0	564,000	3,286,614	3.9%
河芸地域	4,608,965	125,759	0	976,000	3,507,206	2.7%
芸濃地域	6,317,051	87,300	0	2,026,000	4,203,751	1.4%
美里地域	26,510,000	214,350	0	5,250,000	21,045,650	0.8%
安濃地域	3,806,672	44,100	0	398,000	3,364,572	1.2%
一志地域	13,291,080	108,900	0	2,557,000	10,625,180	0.8%
白山地域	41,471,992	2,516,600	0	0	38,955,392	6.1%
美杉地域	50,520,577	528,400	0	11,359,000	38,633,177	1.0%
合計	150,534,651	3,783,109	0	23,130,000	123,621,542	2.5%

※ 車両購入に係る経費及び収入は除いている

※ 広告収入は再編に伴い、広告期間が変更となったため、令和2年度は0円となっている。



■ ぐるっと・つーバス

(1) 概要

高齢者の通院や買い物の移動手段を確保し、外出を支援するとともに、中心市街地の活性化を目指し、平成16年4月から運行されている。実施主体はNPOバスネット津で、津市からは補助金（年額400万）が交付されている。

(2) 利用状況

平成29年度以降、増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度は利用者が減少している。

○ ぐるっと・つーバスの利用者数

【単位：人】

平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較 (R2/R1)	比較 (R2/H30)
16,481	17,932	15,696	87.5%	95.2%

1周 約40分 運賃 **100円** 市内中心部の 主要病院を網羅 商店街やスーパーを巡り 買い物に便利

ぐるっと・つーバス

運賃 (大人・小児・身体障害者同額) **100円均一**

こちらのカードもご利用できます **emica** **三交バスカード** **回数券** **フラワー定期券**

津新町駅でお降りの際、次乗のバスをご利用の場合に限り、「乗継券」をお渡ししますので乗継までお知らせください。後のバスでは「乗継券」があれば運賃はいただきません。

■ 地域住民運営主体型コミュニティ交通

(1) 概要

民間路線バスやコミュニティバスが運行されていない地域において、地域住民の移動手段を確保すべく、地元自治会によって乗合ワゴン（乗合タクシー）が運行されており、津市からは補助金（運行経費から収入を差し引いた赤字部分の4分の3相当額）が交付されている。

津地域の高松山団地においては平成25年4月から、白山地域の二俣地区及び上佐田地区においては平成28年3月から、本格運行が開始されている。

(2) 利用状況

ア 高松山団地乗合ワゴン

利用者は令和元年度からほぼ横ばいであるが、平成30年度と比較すると概ね半分となっている。かねてより乗合率の向上が課題となっている。

イ 二俣地区乗合タクシー

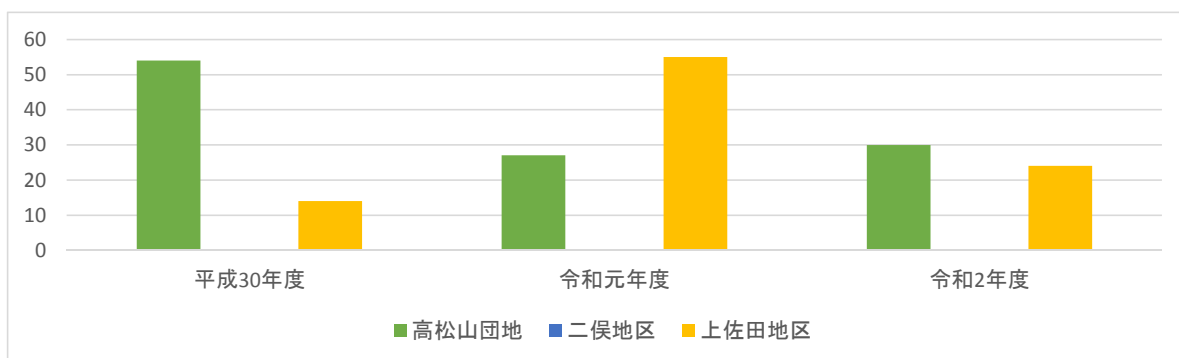
平成29年6月以降は利用が無い状況。今後の事業の継続について協議していく必要がある。

ウ 上佐田地区乗合タクシー

平成30年度から令和元年度にかけては、乗合率が上昇し、利用者数も大きく増加したが、令和2年度は平成30年度よりは利用者数は多いものの令和元年度と比較して利用者が減少した。

○ 地域住民運営主体型コミュニティ交通の利用者数 【単位：人】

地区名	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	利用者数	1便あたり	利用者数	1便あたり	利用者数	1便あたり
高松山団地	54	1.0	27	1.0	30	1.0
二俣地区	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上佐田地区	14	1.2	55	2.3	24	1.1
合計	68		82		54	



(3) 事業費の状況

高松山団地

【単位：円】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行委託料	86,400	43,470	52,200
運賃収入	16,200	8,100	9,000
補助対象経費	70,200	35,370	43,200
補助金 (75%)	52,000	26,000	32,000
自治会負担 (25%)	18,200	9,370	11,200

二俣地区

【単位：円】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行委託料	0	0	0
運賃収入	0	0	0
補助対象経費	0	0	0
補助金 (75%)	0	0	0
自治会負担 (25%)	0	0	0

上佐田地区

【単位：円】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行委託料	18,070	82,690	39,700
運賃収入	4,200	16,500	7,200
補助対象経費	13,870	66,190	32,500
補助金 (75%)	10,000	49,000	24,000
自治会負担 (25%)	3,870	17,190	8,500

津市自主運行バス(廃止代替バス)の見直し及び津市コミュニティバス再編後の利用状況について

○ 自主運行バス(廃止代替バス)の利用状況 【単位:人】

路線名	4月	5月	6月	合計
津新町大里線	4,020	3,920	4,090	12,030
豊野団地線(旧三行線)	888	817	915	2,620
高野団地線(旧多気線)	393	378	402	1,173
亀山棕本線	504	466	519	1,489
総合計	5,805	5,581	5,926	17,312

○ 津市コミュニティバスの利用状況 【単位:人】

地域名	ルート名	4月	5月	6月	合計
南部地域	久居北・片田・高茶屋ルート	282	282	282	846
	久居南・雲出ルート	84	98	91	273
	久居西循環ルート	95	62	99	256
	小計	461	442	472	1,375
北部地域	河芸循環ルート(月・土)	144	185	150	479
	河芸循環ルート(水)	114	106	157	377
	河芸南・一身田・白塚循環ルート	126	83	74	283
	小計	384	374	381	1,139
北西部 (芸濃)地域	芸濃北ルート	238	184	218	640
	芸濃南ルート	187	224	263	674
	小計	425	408	481	1,314
北西部 (安濃)地域	清水ヶ丘団地・戸島・棕本ルート	205	230	232	667
	妙法寺・野口・棕本ルート	120	108	89	317
	小計	325	338	321	984
南西部 (美里)地域	穴倉・辰水・忠盛塚ルート	52	61	56	169
	長野・榊原ルート	78	78	78	234
	小計	130	139	134	403
南西部 (一志)地域	一志東・伊勢中川駅ルート	244	225	267	736
	一志西循環ルート	182	143	165	490
	小計	426	368	432	1,226
南西部 (白山)地域	八対野・大三ルート	1,307	1,351	1,307	3,965
	福田山・川口・三ヶ野ルート(月水金)	282	282	282	846
	福田山・川口・三ヶ野ルート(火・木)	248	220	248	716
	小計	1,837	1,853	1,837	5,527
南西部 (美杉)地域	美杉東ルート	364	364	364	1,092
	美杉西ルート	464	464	464	1,392
	美杉南ルート	11	12	11	34
	美杉循環ルート	110	92	110	312
	小計	949	932	949	2,830
総合計	4,937	4,854	5,007	14,798	

○ 令和2年度自主運行バス(廃止代替バス)及び津市コミュニティバス事業費【決算額】 【単位:円】

	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	補助金収入 (C)	市支出額 (A-B-C)※	収支率 (B/A)
自主運行バス	95,165,500	27,758,500	4,844,000	67,284,052	29.2%
コミュニティバス	150,534,651	3,783,109	23,130,000	123,621,542	2.5%
合計	245,700,151	31,541,609	27,974,000	190,905,594	

※自主運行バスについては、純支出額を委託料として支払うため、消費税分加算した額が市支出額となる

○ 令和3年度自主運行バス(廃止代替バス)及び津市コミュニティバス事業費【予算額】

【単位:円】

	令和3年度 支出見込額 (A)	令和2年度 決算額 (B)	差額 (A-B)
自主運行バス	43,094,000	67,284,052	△ 24,190,052
コミュニティバス	115,059,000	123,621,542	△ 8,562,542
合計	158,153,000	190,905,594	△ 32,752,594